

「医療・介護従事者を守る」

無料オンラインウェビナーで学ぶ

シリーズ Vol. 7

働く人も患者さんや利用者さんも
みんなが幸せになるために



田中とも江先生に聞く

身体的拘束の 最小化に向けて 現場の実態と 今後の課題

9月8日 (火曜日)

13:30～ 15:30～

当日は各回60分程度の、同じ内容となります。
ご都合に合わせてエントリーいただけます。

第1部：講演

講演内容：「身体拘束はなぜいけないのか ～拘束廃止の理念と取り組み～」



講演者

田中 とも江

1984年より上川病院（現 多摩平の森の病院）にて高齢者医療に携わり、86年より高齢者患者の治療に伴う身体拘束の廃止に取り組んでいます。この活動は、身体拘束廃止「福岡宣言」を発端として、全国的な身体拘束ゼロ運動に広がりました。2002年4月上川病院を退職後独立。その後排泄ケアに力を入れ、多くの介護施設で指導にあたっています。モットーは『看護師の前に血の通った人間であれ』。

【経歴】

愛知県医師会一宮看護婦学校卒業
東京高尾看護専門学校卒業

1984年

上川病院勤務、総婦長在職中の1986年より縛らない看護に取り組む

1998年10月の「抑制廃止福岡宣言」や、
1999年6月の「九州宣言」のきっかけをつくる

2009年

社会福祉法人こうほうえんケアホーム西大井 こうほうえん 施設長

第2部：座談会

テーマ：現場における身体的拘束の実態と課題解決策

講師：田中 とも江（社会福祉法人こうほうえんケアホーム西大井 こうほうえん 施設長）

櫻井 正愛（社会福祉法人白十字会 東京白十字病院 看護部長）

蓬田 拓郎（社会医療法人社団森山医会 森山ケアセンター介護老人保健施設 支援相談員 主任）

堀川 可琳（株式会社シルバー産業新聞社）

北村 健人（フォーク株式会社）

参加無料

事前エントリー



上の二次元コードから
必要事項をご入力ください